

ののさき学園

令和3年度ののさき学園小中一貫教育通信 第3号
7月20日(火)発行 文責 野崎中学校 小室裕也

ののさき学園小中一貫教育を推進するにあたって、「確かな学力の向上」を目指し、さまざまな取組を行っています。確かな学力の向上を推進するにあたり、その中心となるのが「学習指導部会」です。さらにその学習指導部会の中に、「授業研究部」があり、「国語科」「算数・数学科」「英語活動・英語科」「特別の教科 道徳科」が組織されています。今回は、特別の教科道徳科部会の活動の様子を紹介します。

特別の教科道徳科部会は野崎中和氣教諭を部長とし、野崎中からは高橋教諭、鈴木教諭、野中養護教諭の4名。薄葉小からは伴教諭、松田教諭、福崎教諭の3名。石上小からは豊田教諭の総勢8名で構成されています。

第1回の研究授業は6/28(月)6校時に野崎中2年2組で行われました。和氣教諭が授業者となり、「人工癌をつくり出せ」という教材で、目標の実現を主題とした授業が展開されました。ねらいは「幾多の困難に直面しても、それを乗り越える山際さん(主人公)の心情を考える活動を通して、自らの夢や目標を達成するための原動力に気付かせる。」ことでした。chromebookのJamBoardを使って、各個人からトリオ(3人組)、そしてクラス全体で多面的な意見交換がされていました。



また、授業後は授業研究会が行われました。

今回の研究授業に向けて放課後野崎中に集まり、指導案の検討を重ね準備をしてきました。

12月には小学校で研究授業が予定されています。

